

【北海道岩見沢東高等学校】学際領域学科（令和7年度設置）

目的

- 外部の機関等の協力のもと学際的、複合的な最先端の学問分野の知見に基づく探究的な学びに取り組むことにより、予測困難なこれからの社会の持続・発展に寄与する知識、技能、態度を身に付けた生徒を育成する。
- 総合的な探究の時間や学校設定科目を核としたカリキュラムマネジメント及び教育プログラムの開発に取り組むことにより、地域の期待に応える高校づくりを進めるとともに、本道における普通科新学科校のモデルとなる。

特色・魅力ある教育の概要

現代的な諸課題を自分事としてとらえ、地域から世界の諸課題へ段階的に学びを発展させる探究学習

GANTO BASIS

空知や北海道における課題と現代社会における諸課題のつながりを理解するとともに、自ら課題を設定し、様々な手法を用いて探究に取り組む。

▶ 学校設定科目の開設

探究学習を支える最新アプローチの習得

- ・「探究基礎」…データの収集分析や思考・表現の方法
- ・「探究応用」…データサイエンス等の理解と応用

GANTO PROGRESS

身に付けた力を地域の課題解決に向けた探究学習に応用し実践するとともに、国内や海外の諸課題など、さらに視野を広げて探究に取り組む。

探究学習の充実

▶ 学際的な学びの実現

柔軟な教育課程と学校間連携

- ・類型にとられない教育課程の編成や、コンソーシアムを活用した学際的な学びの充実に向けた連携協力体制の構築

GANTO PRIDE

探究的な学びで得られたものを自分自身の将来の生き方・在り方につなげ、進路希望に応じた課題を設定し個人で探究に取り組む。

▶ グローバルな視野を育成する学び

異なる文化をもつ多様な他者との学び

- ・大学の留学生など北海道内に在住する外国人等を活用した学び
- ・ICTを活用した海外の高校生等との協働的な学び

令和5年度の【取組内容】と【成果】及び【課題】

【取組内容】

- ・岩見沢市内新設校カリキュラムの検討
- ・コンソーシアムの構築と探究学習への活用
- ・コーディネーターの採用とコーディネーター業務の明確化
- ・新設校設立に向けた両校（岩見沢東・岩見沢西）の連携と協働
- ・新設校及び新学科の学びの周知

【成果】

- ・新設校のカリキュラム完成
- ・コンソーシアムの構築及びコーディネーターの活用により「総合的な探究の時間」の内容充実、地域との連携強化
- ・「総合的な学習の時間」の活動の充実（台湾・オーストラリア海外研修含む）
- ・高大連携による交流、事業の展開
- ・南空知学区の全中学校への説明、岩見沢市での説明会の実施による新設校及び新学科について周知

【課題】

- ・両校のさらなる連携と協働
- ・地域への新設校及び新学科に関する情報提供とより一層の理解の浸透を図るための継続した広報活動
- ・総合的な探究の時間と学校設定科目をより一層関連付けた、系統的・発展的な探究活動の実施

コンソーシアムの構築方法

これまでの探究学習、進路指導等でつながった関係機関（連携協議会）を核として、本校同窓会及び地域の行政機関の協力を得ながら、市内の他校とも連携し、岩見沢市内の高等学校における教育の発展・充実に資する連携協力体制の構築を目指す。



コーディネーター

コーディネーター

【愛知県立惟信高等学校】地域社会学科（令和7年度設置（予定））

【設置の目的及び特色・魅力ある教育の概要】

地域に根差した様々な探究活動を通して「実践力」と「自立型思考力」を育み、
自分自身、地域・日本・世界の未来を切り拓く力を育成する

- ☆ 「グローバル総合探究」（新設学科における学校設定教科）
⇒ 地域との連携に重点を置いて、社会人として自立し、活躍できる人間力の育成を目指し、「総合的な探究の時間」とのつながりを考慮する
- ☆ 「学びの探究」（新設学科における学校設定教科）
⇒ これまでの高校の教科をより根本的、かつ柔軟に実践し、学ぶことの楽しさを実感できる授業

- ☆ 既存の普通科も含めた学校全体の改善に向けて取り組む「2階建て構成」
⇒ 全学年を通して行われる「総合的な探究の時間」を通して、ネット空間にはない「リアルな肌感覚」ある学びを重視
⇒ 「3つの軸（時間軸・空間軸・人間軸）」を持って取り組む探究活動

【関係機関との連携・協働体制の構築方法】

運営指導委員会

コンソーシアム


愛知県教育委員会


【令和5年度の目標】

- I 事業進行のための土台作り
 - ☆ 事業の目標（ねらい）の設定
 - ☆ 全職員の理解共有
- II 「総合的な探究の時間」の取組・展望と試行的実施
- III 普通科魅力化プロジェクト都市型モデルの展望
 - ☆ 全職員による生徒主体参加型のAL型授業の実施に向けて取り組む
- IV 新設学科の学校設定教科の検討・実施素案の作成

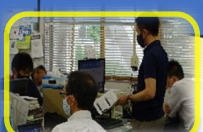
【取組状況】

⇒ 「成果発表会」
「港区改善計画」（2年）


⇒ 「惟信マルシェ」
「地元の宝探し」（1年）


⇒ 教科の魅力発見
模擬授業（3年）


⇒ 「教科会」での話し合い

⇒ 「教員研修会」
教員個々の研修


【成果と課題】

- ☆ 成果 ☆
 - ① 新設学科における「総合的な探究の時間」の試行実施
 - ② 普通科魅力化プロジェクト都市型モデルの草案作りと実施に向けた教員研修と協議
 - ③ 新設学科における学校設定教科の単位数と内容検討
- ★ 課題 ★
 - ① 全職員による事業達成のための意義・目的の共有不足
〈対策〉・全体での話し合い時間の充実
・事業進行のための校内組織の再編
・本校生徒の実態に即した目標の設定
 - ② 新設学科の学校設定教科の具体化
〈対策〉・新規プロジェクトチームによる検討

【愛知県立美和高等学校】地域社会学科（令和7年度設置（予定））

地域と自分の美しさを知り 人と人の和の力で 未来を拓く生徒を育む “美和高 Makes Innovators with Neighbors Dramatically”

～地域とともに未来を革新する人材を育てる～

【設置の目的・教育活動の概要】

地域と協働し、生徒を軸とした地域活性化に取り組むとともに、生徒の物事を肯定する力と不安定な時代を生き抜く力を育み、地域の未来の担い手を育成するカリキュラムを編成すること。

七宝焼のように 7つの輝く資質・能力の育成を目標とします

課題発見力 情報活用力 問題解決力 対話力 実践力 思いやり 豊かな人間性

美を知る 1年生

和をつくる 2年生

未来を拓く 3年生

総合的な探究の時間 探究活動

学校設定科目 フィールドワーク

教科等横断的な学び 教科を横断した探究活動の基礎となる知識

【令和5年度の目標】

カリキュラムの研究開発

- ・新学科のカリキュラム案作成
- ・総合的な探究の時間及び学校設定科目の年間指導計画概要作成

地域連携センターの充実

- ・地域連携センター「美和高マインド」のコンソーシアム化
- ・「美和高マインド」役員の拡充

大学訪問



連携大学の拡充

- ・大学との連携強化
- ・オンライン講座やゼミ等の共同実施

総合的な探究の時間の充実

- ・地域探究の充実
- ・フィールドワーク縮小版の実施

【取組状況】

新学科の単位数検討・年間指導計画の作成

- ・総合的な探究の時間を各学年3単位へ
- ・学校設定科目を各学年3単位へ
- ・年間指導計画の概要作成
- ・新学科の修学旅行先変更の検討

コンソーシアム化・役員拡充

- ・「美和高マインド」のコンソーシアム化
- ・大治町教育委員会・あま市観光協会より新たに役員を選出
- ・地域講演会の実施

小学生向け七宝焼講座



大学訪問・ゼミの共同実施

- ・大学訪問の実施
- ・地域探究ゼミの共同実施
- ・次年度（令和6年度）の内容検討

地域探究発表会・フィールドワークの実施

- ・地域探究発表会の実施
- ・地域と協働したフィールドワークの実施
- ・地元小中学校との連携協議の実施

【美和高等学校と連携機関・大学との協働体制】

令和5年度
年3回のコンソーシアム会議
年2回の運営指導委員会を実施

【運営指導委員会】
外部有識者
愛知県教育委員会 等

指導・助言

コンソーシアム会議



美和高等学校

地域で学ぶ機会を提供

高度な学びの機会を提供

【コンソーシアム】あま市・大治町等
市役所 商工会 社会福祉協議会
NPO法人 教育委員会 NEW!
中学校 小学校 観光協会 等

【コンソーシアム】東海地区の大学
愛知県立大学(予定) 三重大学(予定)
岐阜大学(予定) 愛知大学(予定)
名古屋文理大学 星城大学

【成果と課題】

成果

前年度から継続した小学生向け七宝焼講座に加え、小学生向け校外学習の引率、放課後こども教室や子供会のイベント運営、小学校での茶道教室の実施、あま市民病院とのトリアージ訓練など、新たな連携先との協働活動に取り組んだ。また、5大学を訪問し、ゼミに参加、ゼミ内容実践のフィールドワーク（地域での調査活動）を実施するなど、生徒の学びを深化する活動を行った。

参加した生徒からは、「地域に貢献できる喜びを感じた」「地域政策に興味を持ち、大学でそれを学びたいと思った」など、前向きな感想が多く聞かれ、生徒の意欲向上に一定の成果があった。

また、連携機関の拡充、コンソーシアム役員の増員など、地域との連携についても強化することができた。

課題

新学科設置前の限られた時間数での試行実施のため、公募生徒や部活動生徒による休日や長期休業を使った活動が多かった。今年度試行実施した内容は、新学科設置後の授業時間数とのギャップにより、変更や修正が予想される。授業内で実施する際の、詳細な指導計画の作成が今後の課題である。



校外学習引率



トリアージ訓練



星城大学 地域探究ゼミ



フィールドワーク

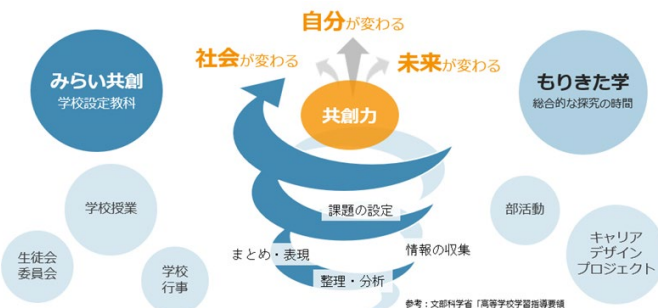
【滋賀県立守山北高等学校】地域社会学科（令和7年度設置（予定））

新学科コンセプト

「地域をフィールドとした学び」と「ウェルビーイング」を柱に、多様性を尊重し、他者と協働しながらよりよい地域の未来を創造する

特色・魅力ある教育活動の概要

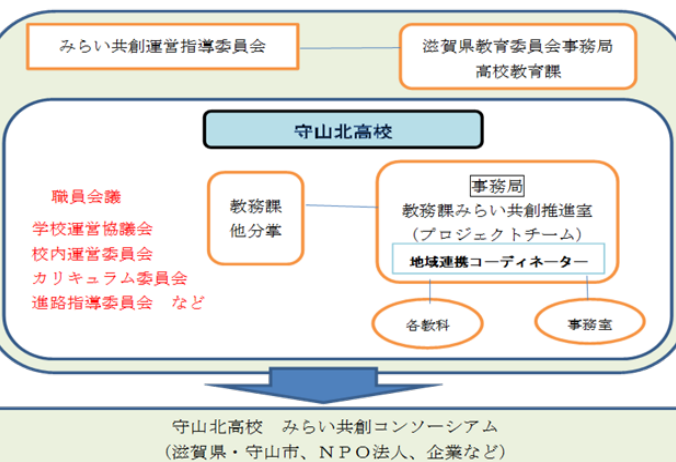
学校全体の魅力化（未来を共創し、未来を構想するプログラム）



3つの重点ポイント

- 1 もりきた版デュアルシステム**
守山市の企業や大学等と連携した実践型インターンシップにより生徒のニーズに応えた進学・就職をサポートする。自由な進路選択を実現する。
- 2 探究との相乗効果**
みらい共創科で新設する「学校設定教科(みらい共創)」と「総合的な探究の時間(もりきた学)」との相乗効果により学校全体で生徒の学びの底上げを行う。
- 3 DXによる学びの実践**
PCやタブレットを活用した授業やグループワークを軸とした対話的な学びで表現力の向上を目指す。研究者・実践者・企業人らと繋がることのできるDXの学びの拠点となる。

関係機関との連携・協働体制の構築方法



令和5年度の目標

- 「みらい共創推進室」を中心とした研究開発
 - ・カリキュラムの開発
 - ・新学科設置に向けた先行授業実施
 - ・コンソーシアムの立ち上げ
 - ・ウェブサイトやSNSを活用した情報発信

令和5年度の取組状況

- 「みらい共創推進室」の設置
 - ・定期的なカリキュラム、総探、環境整備、広報デザイン等の検討
- コーディネーターの役割の明確化
 - ・校務分掌に位置付け
 - ・2人のCNの業務領域を分担
- 拡大推進室会議の開催
 - ・学年・分掌と情報共有、教職員の意識向上、新学科推進の機運醸成
- 新学科設置に向けた先行授業実施
- 先進校視察
- コンソーシアム立ち上げのための各主体との調整
- 運営指導委員会の開催

令和6年度は、地域連携の流れを持続可能なものにするため、地域に根差したウェルビーイングの観点から、大学や福祉、農業、まちづくり団体を、キャリア教育の観点から、商工関係団体・施設、地元起業家等を構成員に迎え入れ、学校と関係機関が有機的につながったコンソーシアムを構築する。

令和5年度の成果と課題

成果

- カリキュラムの土台作り
 - ・もりきた版デュアルシステム
 - ・生徒アンケートによる意識調査
 - ・インターンシップ等に伴う関係機関へのヒアリング
- 運営指導委員会等による専門家の意見を反映したカリキュラム案の検討
- 新学科設置に向けた先行授業の実施
- 学校全体の魅力化の検討(学校設定教科と総探の相乗効果)
- 研究成果報告会の開催
- 広報デザインの検討(タブロイド紙(原案)の作成)
- コーディネーターによる職員研修の実施(新学科のイメージ共有)

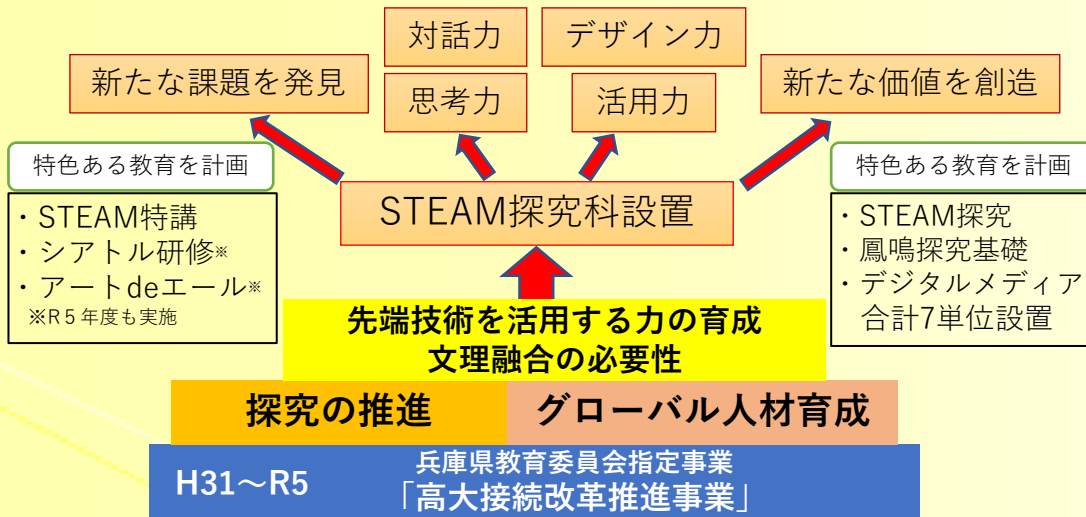


課題

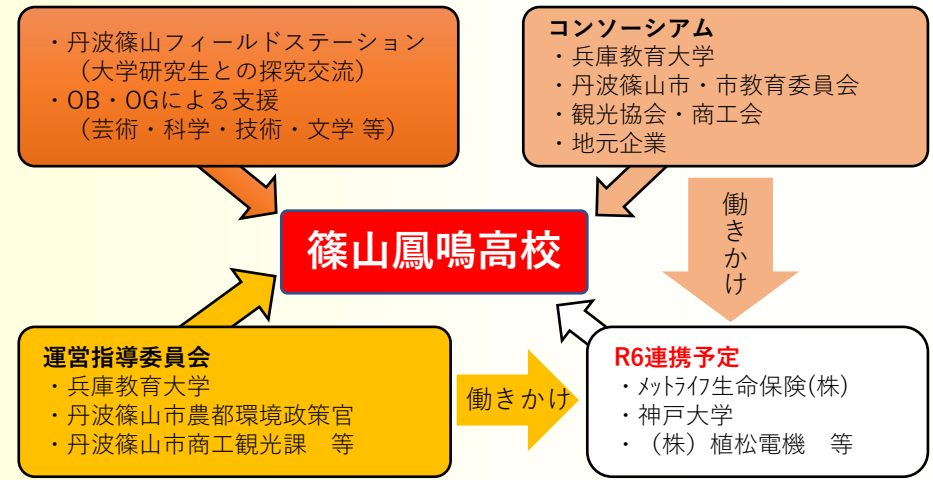
- 新学科設置に向けた先行授業の充実
 - ・学校設定教科(インターンシップを含む)、総合的な探究の時間
- 先行授業に伴う学校行事の開催時期等の見直し
- ポートフォリオによる見える化とルーブリックを活用した学校設定科目の評価方法の検討
- 学校設定教科の教材開発・研究(独自教材の研究)
 - ・探究学習用マニュアルの作成
- コンソーシアムの構築
- 新学科に対する教職員の意識向上(One Teamの学校)
- ウェブサイトやSNSを活用した情報発信
- 広報デザインの検討(中学生や保護者等への広報活動)
 - ・タブロイド紙の作成
- 探究学習用「MORIKITA BASE」の整備と地域に開かれた空間としての活用の研究

【兵庫県立篠山鳳鳴高等学校】STEAM探究科（令和6年度設置）

学科設置の目的と育成を目指す能力



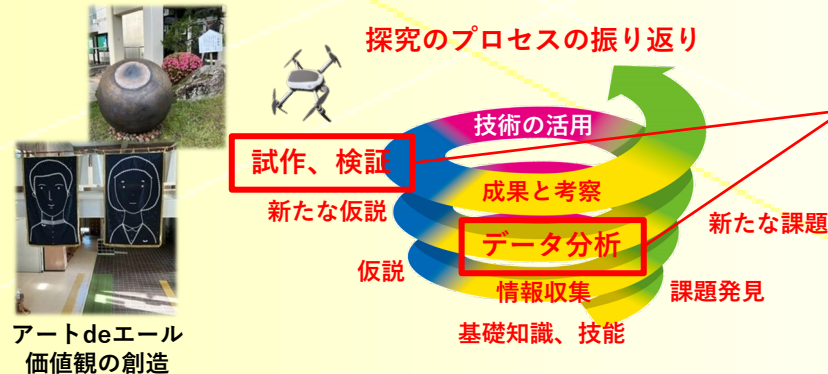
連携体制の構築



令和5年度の目標と取組

- **STEAM 探究科のカリキュラム開発**
「STEAM 探究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」5単位
「鳳鳴探究基礎」1単位
「デジタルメディア」1単位
「STEAM探究科教育課程」
- **探究活動の推進**
全校で2年間の探究活動を実施
全校発表会「探究DayⅠ・Ⅱ」の開催
- **OB/OGによる支援**
芸術・科学・技術・文学 等
- **保護者、中学生へ新学科周知**
オープンハイスクール開催
チラシ・ポスター制作
- **STEAM 探究教員研修の実施**
STEAM教育研修
ファシリテーション研修
3Dリバーズエンジニアリング研修
- **先進校視察**
県内8校、県外3校2施設を視察

成果と課題



生徒の変容

- 生徒アンケートで向上がみられた能力
- ・論理的思考力（探究の思考過程で養成）
 - ・対話力（探究のフィールドワークで養成）

課題

- **デザイン力の育成**
試作・検証 探究内容をOUTPUTする力
- **STEAMの視点**
興味ある内容についてSTEAMの視点から課題解決を図る力（データ分析力等）
- **テーマ設定の工夫**
丹波篠山の地で篠山鳳鳴ならではのSTEAM探究を目指す

兵庫県立姫路飾西高等学校 STEAM探究科(令和6年度設置1年次40名)

令和5年度 取組・成果 / 令和6年度 取組

時代のフロントランナーとして駆けぬけてきた40年、そしてその先へ

学びを自分でデザインしながら、「自分ごと」を発見



STEAM探究科

文理の枠を超えた学びを通して、俯瞰的視野、課題解決力、論理的思考力、主体性、創造性等を育成

目指す生徒像

実社会やこれからの時代に想定される課題を見出し、文理の枠を超えた複眼的な視野や柔軟な発想で、他者と協働して課題解決や新たなシステム、価値を創造しようとする生徒

将来の生き方や社会への関わり方を考え、やりたいことをアピールして進路選択

令和5年度 取組・成果

- ◆ 探究的な学びの実践
- ◆ 全校生にSTEAM教育を浸透
- ◆ 最新機器の活用法を考える学び
- ◆ 企業人や大学教授による講演会などの実施
- ◆ 外部人材を積極的に活用した探究活動の充実 など

先行実施 STEAM教育の考え方を踏まえた「総合的な探究の時間」各学年：1単位

11月 生徒対象講演会 他

100年経営企業から見てくる『生き抜く力』と、そこから見てくる『学びの意義』について

2月 県高等学校探究活動研究会 他

講演会ならびにポスター発表+ワークショップに参加

7月 中間発表①

- ・テーマ設定の理由
- ・テーマに対する課題や問題点の提示
- ・解決方法の検討報告



12月 中間発表②

- ・フィールドワーク、アンケート等の実施報告
- ・最終発表に向けて今後の方針



3月 成果発表会(2学年合同実施)

- 2年：1年間行ってきた探究活動の成果発表
- 1年：10月以降に実施したミニ探究の発表



学びを支えるコンソーシアム

コンソーシアム委員会・運営指導委員会による探究活動へのアドバイス・助言

令和6年度 取組

STEAM探究科<実施例>

<p>関係機関とのさらなる連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・STEAMキャンプ(大学・企業訪問等)の実施 ・外部人材を活用した各種講演会や授業の実施 	<p>国際的視野を広げる活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンガポール研修の実施と充実 ・海外のSTEAM教育の現状を探る 	<p>探究活動の成果発表や校外への発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種外部コンテスト等への積極的な参加 ・他校との発表会による交流
<p>カリキュラムデザインと評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年次横断的なカリキュラムや年次縦断的なカリキュラムの作成と生徒との共通理解 ・評価規準の作成(ポートフォリオの活用やルーブリック作成等) 		<p>タイムリーな広報活動と地域社会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校への広報の仕方を検討 ・近隣小学校への出前授業等の充実

STEAM探究科の目標

Beyond the Border Quest

自分の固定概念を取り払う文理の枠を超えた探究活動

→ ホンモノに出会う・本気に触れる

STEAM探究科に ← 自身の未来へ繋がる
とどまらず、学校全体へSTEAM教育を普及



兵庫型STEAM教育を実践

自由な発想や新しい考え方を教育活動全体へ取り入れることで基礎学力や対応力、生徒の自律心・協働力・創造力を向上させる

学校教育目標:校訓「進取 友愛 節度」のもと、高い志を持ち、変化の激しい社会において、自らの未来を切り拓き、「地域共生社会」の担い手となる人材を育成する。
 育成を目指す資質・能力:地域や社会の課題を見出す力/正解のない課題に向き合い続ける力/協同して課題を解決する力

教員と生徒による

大学・地域・企業・行政

〔改編検討組織〕
未来会議

〔連携協力体制〕
コンソーシアム

地域
(コミュニティ)

行政
(まちづくり)



大学
(アカデミック)

企業
(ソーシャル)

学校と関係機関を繋ぐ
「学びのファシリテーター」
高校コーディネーター



未来会議で生徒と教員が協働し、高校コーディネーターが学校とコンソーシアムを構成する様々な関係機関を繋ぐ

令和5年度の目標

新学科で育成を目指す資質・能力の策定

総合的な探究の時間の系統的カリキュラム化

探究活動を重視した授業改善を9つの資質能力と関連させて実施

「探究」の基礎力を育成する学校設定科目「未来計画」の開発

生徒の学校運営への参画・先進校視察

特色ある学校運営の推進

令和5年度の取組状況

職員研修等による資質・能力の策定とルーブリックの開発。全教室で資質能力ルーブリックの掲示。

令和5年度全体計画をベースとした「探究」コンセプトの確立と系統化。年間2回の学校全体での探究成果発表会の実施と事後アンケートによる質的改善。

3か月間の授業月間の実施。育成したい資質能力に基づいた授業案の公開と実施、観察カードの提出。

「未来計画」の年間指導計画の作成。探究基礎スキル「合意形成」「レジリエンス」「複数回のミニ探究」「探究のフレームワーク」を身につける計画及び教材の作成。

生徒会を中心に、令和4年度指定の市立高校3校を視察し、授業観察や生徒交流を実施。生徒による職員研修で視察報告及び提案。

ノーチャイムの試行実施や探究活動に特化した教育課程の開発。

令和5年度の○成果と●課題

○新学科で身につけるべき資質・能力の策定とルーブリックの構築と共有
 ○学校全体として「探究」の質的改善を促進する仕組みの構築及び「未来計画」の年間指導計画の作成。
 ○新学科に関する様々な仕組みの試行実施及び検証や決定。高校コーディネーターの採用実施。
 ○生徒が学校運営に関わるための先進校視察や教員との共同研修の実施。

●本校の学校教育目標により特化した形での資質・能力及びルーブリックの改善
 ●総合的な探究の時間を通して地域社会とつながり、課題解決に貢献するという実際の成果の創出
 ●コーディネーターを中心とした地域社会との接続・連携
 ●新学科のコンセプトを伝える広報物の作成・配布や中学生に向けた新学科の説明と地域社会への周知

【鹿児島県立種子島中央高等学校】 ミライデザイン科(令和6年度設置予定)

目的

「デジタル技術」を活用し、社会生活を変革できる資質・能力を身につけ、次世代(デジタル社会)を創造する人材を育成すること。

教育の概要

自ら課題を発見し、解決までの過程を筋道立てて構築する力(デザイン思考)と、課題解決のための有効的な手段として、目的に応じてデジタルツールを適切に選択・活用できる力(デジタル技術)の2つの力を育成。

育成する能力・資質

デザイン思考

- ・課題発見力
- ・課題解決力
- ・コミュニケーション力
- ・創造的思考力等

デジタル技術

- ・データ分析
- ・ICT機器の活用
- ・生成AIの活用
- ・情報発信力等



デジタル人材

令和5年度の取組・次年度の課題

学校設定科目「DX」の開発

【主な取組】

- ・学校設定科目「DX」と設定
- ・1年次のカリキュラムの作成

【課題】

- ・研究3年次に実施する学校設定科目「デジタル音楽」「デジタル美術」のカリキュラムを策定する
- ・デジタル分野のコンテストの精選
- ・シラバスの作成
- ・外部講師の選定、日程調整
- ・自治体・地元企業との連携強化

ルーブリックの開発

【主な取組】

- ・「デザイン思考」「デジタル技術」の習得が期待される資質、能力を明確化したルーブリックを作成
- ・専門家の助言を反映させた評価内容の検討

【課題】

- ・生徒の実態に応じてルーブリックの内容や評価の時期等を再考及び検証する
- ・デジタルツールを活用し、ポートフォリオの作成や記述式の評価の実施を行う

教科横断型授業の取組

【主な取組】

- ・生徒の探究的な視点を養うことを目的とした「教科横断型授業」

【課題】

- ・職員研修等を通して、教科横断型授業の目的や利点等を職員全員で共有する
- ・教科横断型の学びの機会を増やし、様々な角度から物事を捉える探究的な姿勢を持った生徒の姿を共有する

職員研修の実施

【主な取組】

- ・全職員に「デザイン思考」の研修会を3回実施
- ・造詣の深い外部講師による職員研修では、授業作りの工夫や指導ポイント等について、多くの職員が見識を深めることができた

【課題】

- ・「デザイン思考」についての職員参加型のワークショップを実施する
- ・「デジタル技術」の実践型の研修を行い、職員のデジタルツールの理解度を深める

成果普及・情報発信

【主な取組】

- ・高校魅力化コーディネーターを設置し、画像生成AIを利用したインパクトのあるポスターや学校紹介動画を作成して情報発信
- ・中学3年生と保護者を対象とした学校説明会や個別相談会
- ・地域イベントや新聞、インターネット等での発信

【課題】

- ・新学科のより具体的な取組等の情報発信

新しい学び「デザイン思考」について

ユーザー視点で課題を発見し、チームで共創しながら解決策を見いだす思考方法です。低コストかつ短時間でイノベーションを起こせる思考法として、変化が激しい現代において、多くの企業に注目されています。

デザイン思考5つのプロセス

共感

ユーザーが何を不満に感じ、何を必要としているのか見抜く

定義

ユーザーの潜在的な課題を定義する

概念化

解決するアイデアやアプローチ手法を考える

試作

時間やコストをできるだけ掛けずに、とりあえず一度、形にしてみる

検証

試作品のユーザーテストを繰り返し、フィードバックされた意見をもとにブラッシュアップ